

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		下水道汚水施設維持管理事業（処理場等）			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局	課長名	坂田 寛之
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	下水道課	担当者名	久川 絢輝、橋本 静、上山 聡
	業務分野	60	排水の浄化		所属班	下水道班	(内線)	5284
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法 水質汚濁防止法、浄化槽法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 28 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ～ 年度）			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	特定環境保全公共下水道事業として建設された終末処理場である塩浸川浄化センター、農業集落排水事業計画により建設された農業集落排水施設（蘇水苑）を適切に運転及び維持管理する事業である。 下水道法、浄化槽法に基づき資格者による維持管理を行う必要があるため、運転及び水質並びに施設の維持管理など、専門業者に業務のほとんどを委託しているが、委託する維持管理状況の確認、指示、指導及び法定検査への対応を市で行っている。また、業務に必要な燃料等の適宜調達管理、機器の故障や不具合に対する補修・改修は直接、市が行っている。供用開始から塩浸川浄化センターで約30年、農業集落排水施設で約20年を経過し、老朽化が進み、機器の故障が増えている。国や県の方針として、今後は施設の統合や広域化を検討するよう通知されているため、老朽化していく施設の更新は、統廃合の可能性を検討しながら、進めていく必要がある。
【業務の流れ】	【故障等への対応】①故障報告受付、②現地調査（緊急であるかの判断）及び改善策の検討・決定、③修繕工事契約事務、④現場打合せ、⑤竣工検査事務、⑥支払事務 【施設の維持管理委託への対応】①現況確認、②維持管理業務設計・積算事務、③維持管理業務契約事務、④月毎の維持管理報告の確認と検査、⑤月毎の支払事務、⑥その他運転管理業務の確認及び指示・指導 【その他】月ごとの水道料金、電気料金の支払い事務、消耗品の発注、燃料の適宜調達事務、法令検査等対応事務
【主な予算費目】	備用品費、光熱水費、修繕費、動力費、通信運搬費、手数料、委託料、工事請負費、負担金、保険料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

塩浸川浄化センター、農業集落排水処理施設（蘇水苑）の運転管理・保守点検（専門業者委託）を行った設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行った維持に必要な、水光熱費や動力費の支払いを行った

②7年度計画（次年度に計画している主要内容）

塩浸川浄化センター、農業集落排水処理施設（蘇水苑）の運転管理・保守点検（専門業者委託）設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行う維持に必要な、水光熱費や動力費の支払い

③予算の主な増減の理由

労務単価の増に伴う工事請負費の増

成果指標

(単位)

データ取得方法

→イ、不具合やトラブルへの対応率

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	372,395	422,617	447,174	442,939	469,617	375,000	375,000
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	372,395	422,617	447,174	442,939	469,617	375,000	375,000	375,000

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

施設に精通した専門業者に業務を委託し適切な運転管理、保守及び点検を行ったこと、また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な対応ができ、施設の機能が保持され、支障無く稼働できた。電気や機械など、特殊な設備が多く、不具合箇所の早期発見及び計画的な更新を行うため、専門業者による保守点検にも取り組む必要がある。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）